

# 令和3年度 事業報告

学校法人 武蔵野大学

## 1. 法人の概要

### (1) 基本情報

法人の名称：学校法人武蔵野大学  
主たる事務所の住所、電話番号、ホームページアドレス  
東京都江東区有明三丁目3番3号  
03-5530-7333（代表）  
<https://www.musashino-u.ac.jp>

### (2) 建学の精神

この法人は、仏教精神並びに教育基本法及び学校教育法に従い、有為の女子を育成すると共に男女共同参画社会の実現に資する教育及び幼児教育を行うことを目的とする。

### (3) 学校法人の沿革

大正13 (1924)年 東京都中央区築地に「武蔵野女子学院」創設。  
昭和02 (1927)年 武蔵野女子学院高等女学校設立。  
昭和04 (1929)年 保谷村（現：西東京市、現在の武蔵野キャンパス）に移転。  
昭和22 (1947)年 新学制により武蔵野女子学院高等女学校は  
武蔵野女子学院中学校、武蔵野女子学院高等学校となる。  
昭和25 (1950)年 武蔵野女子短期大学設立。  
昭和29 (1954)年 武蔵野女子短期大学を武蔵野女子学院短期大学に名称変更。  
昭和40 (1965)年 武蔵野女子大学設立。  
武蔵野女子学院短期大学を武蔵野女子大学短期大学部に名称変更。  
昭和42 (1967)年 武蔵野女子学院幼稚園設立。  
昭和61 (1986)年 武蔵野女子学院幼稚園を武蔵野女子大学附属幼稚園に名称変更。  
平成11 (1999)年 武蔵野女子大学大学院設立。  
平成15 (2003)年 武蔵野女子大学を武蔵野大学に、武蔵野女子大学附属幼稚園を武蔵野大学  
附属幼稚園に名称変更。  
平成16 (2004)年 武蔵野大学男女共学化。  
平成18 (2006)年 武蔵野女子大学短期大学部を廃止。  
平成24 (2012)年 学校法人武蔵野女子学院を学校法人武蔵野大学に名称変更。  
江東区有明に有明キャンパスを開設。  
平成28 (2016)年 学校法人武蔵野大学と学校法人千代田女学園が法人合併。  
平成29 (2017)年 武蔵野大学附属慈光保育園設立。  
平成30 (2018)年 千代田女学園高等学校を男女共学化し、武蔵野大学附属千代田高等学院に  
名称変更。  
千代田インターナショナルスクール東京設立。  
令和元 (2019)年 武蔵野女子学院中学校・高等学校を武蔵野大学中学校・高等学校に名称変更し、  
武蔵野大学中学校を男女共学化。  
令和2 (2020)年 武蔵野大学高等学校を男女共学化。武蔵野大学附属有明こども園設立。  
令和3 (2021)年 千代田インターナショナルスクール東京を募集停止。

(4) 設置する学校・学部・学科等

(令和3年5月1日現在)

武蔵野大学	大学院	文学研究科	日本文学専攻 (修士課程/博士後期課程)	
		言語文化研究科	言語文化専攻 (修士課程/博士後期課程)	
		法学研究科	ビジネス法務専攻 (修士課程/博士後期課程☆)	
		政治経済学研究科	政治経済学専攻 (修士課程/博士後期課程)	
		経営学研究科	会計学専攻 (修士課程)	
		データサイエンス研究科	データサイエンス専攻 (修士課程) ☆	
		人間社会研究科	人間学専攻 (修士課程/博士後期課程) 実践福祉学専攻 (修士課程)	
		仏教学研究科	仏教学専攻 (修士課程/博士後期課程)	
		工学研究科	数理工学専攻 (修士課程/博士後期課程☆) 建築デザイン専攻 (修士課程)	
		環境学研究科	環境マネジメント専攻 (修士課程) 環境システム専攻 (博士後期課程)	
		教育学研究科	教育学専攻 (修士課程)	
		薬科学研究科	薬科学専攻 (修士課程/博士後期課程)	
		看護学研究科	看護学専攻 (修士課程/博士後期課程)	
		通信教育部 人間社会研究科	人間学専攻 (修士課程) 仏教学専攻 (修士課程) [平成28年度募集停止] 実践福祉学専攻 (修士課程)	
		通信教育部 仏教学研究科	仏教学専攻 (修士課程)	
		通信教育部 環境学研究科	環境マネジメント専攻 (修士課程)	
		大学	文学部	日本文学文化学科
			グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学科
	● グローバル・コミュニケーション学部		グローバル・コミュニケーション学科 [平成28年度募集停止]	
	法学部		法律学科 政治学科	
	● 経済学部		経済学科 経営学科 [平成31年度募集停止] ● 会計ガバナンス学科 [平成31年度募集停止]	
	● 経営学部		経営学科 会計ガバナンス学科	
	アントレプレナーシップ学部		アントレプレナーシップ学科☆	
	データサイエンス学部		データサイエンス学科	
	● 政治経済学部		政治経済学科 [平成26年度募集停止]	
	● 人間科学部		人間科学科 社会福祉学科	
	工学部		環境システム学科 数理工学科 建築デザイン学科	
	● 環境学部		環境学科 [平成27年度募集停止]	
	教育学部		教育学科 幼児教育学科	
	薬学部		薬学科	
	看護学部		看護学科	
	通信教育部 人間科学部		人間科学科	
	通信教育部 教育学部		教育学科	
専攻科 (言語聴覚士養成課程)				
別科 (日本語教育課程、介護福祉士養成課程)				
武蔵野大学高等学校 全日制課程普通科				
武蔵野大学中学校				
武蔵野大学附属千代田高等学校 全日制課程普通科				
● 千代田女学園中学校 [平成30年度募集停止]				
武蔵野大学附属幼稚園				
武蔵野大学附属慈光保育園 (企業内保育所)				
武蔵野大学附属有明こども園				
● 千代田インターナショナルスクール東京 (各種学校) [令和3年度募集停止]				

● 募集停止

☆ 令和3年度開設

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和3年5月1日現在/単位:人)

設置校	研究科・学部等	専攻・学科等	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数	
大学院	文学研究科	日本文学専攻(修士課程)	7	5	14	9	
	言語文化研究科	言語文化専攻(修士課程)	55	39	110	101	
	法学研究科	ビジネス法務専攻(修士課程)	10	1	20	4	
	政治経済学研究科	政治経済学専攻(修士課程)	10	2	20	5	
	経営学研究科	会計学専攻(修士課程)	10	12	20	16	
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻(修士課程)	10	4	10	4	
	人間社会研究科	人間学専攻(修士課程)	30	27	60	50	
		実践福祉学専攻(修士課程)	7	1	14	1	
	仏教学研究科	仏教学専攻(修士課程)	5	1	10	6	
	工学研究科	数理工学専攻(修士課程)	15	5	30	14	
		建築デザイン専攻(修士課程)	15	6	30	12	
	環境学研究科	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	6	20	10	
	教育学研究科	教育学専攻(修士課程)	10	6	20	10	
	薬科学研究科	薬科学専攻(修士課程)	5	0	10	1	
	看護学研究科	看護学専攻(修士課程)	10	3	20	14	
		修士課程 計	209	118	408	257	
		文学研究科	日本文学専攻(博士後期課程)	2	1	6	2
		言語文化研究科	言語文化専攻(博士後期課程)	2	0	6	5
		法学研究科	ビジネス法務専攻(博士後期課程)	3	2	3	2
		政治経済学研究科	政治経済学専攻(博士後期課程)	3	0	9	0
		人間社会研究科	人間学専攻(博士後期課程)	3	2	9	8
		仏教学研究科	仏教学専攻(博士後期課程)	2	1	6	3
		工学研究科	数理工学専攻(博士後期課程)	2	0	2	0
		環境学研究科	環境システム専攻(博士後期課程)	2	1	6	1
		薬科学研究科	薬科学専攻(博士後期課程)	5	4	15	12
		看護学研究科	看護学専攻(博士後期課程)	3	1	9	14
			博士後期課程 計	27	12	71	47
			大学院 計	236	130	479	304
	大学	文学部	日本文学文化学科	200	209	875	815
		グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	165	160	666	562
			日本語コミュニケーション学科	80	79	330	319
			グローバルビジネス学科	55	58	234	233
グローバル・コミュニケーション学部 ※1		グローバル・コミュニケーション学科※1	-	-	-	1	
法学部		法律学科	190	192	781	703	
		政治学科	100	102	431	426	
経済学部		経済学科	175	192	721	699	
		経営学科 ※2	-	-	235	209	
		会計ガバナンス学科 ※2	-	-	90	86	
経営学部		経営学科	220	221	666	639	
		会計ガバナンス学科	90	91	270	269	
アントレプレナーシップ学部		アントレプレナーシップ学科	60	73	60	73	
データサイエンス学部		データサイエンス学科	90	94	230	230	
政治経済学部 ※3		政治経済学科 ※3	-	-	-	1	
		経営学科 ※3	-	-	-	0	
人間科学部		人間科学科	215	228	888	869	
		社会福祉学科	145	146	628	554	
工学部		環境システム学科	70	76	280	277	
		数理工学科	60	67	240	221	
	建築デザイン学科	70	71	280	279		
環境学部 ※4	環境学科 ※4	-	-	-	0		
教育学部	教育学科	120	127	480	481		
	幼児教育学科	100	104	400	391		
薬学部	薬学科	145	135	915	830		
看護学部	看護学科	125	127	560	531		
	計	2,475	2,552	10,260	9,698		
通信教育部	大学院 人間社会研究科	人間学専攻(修士課程)	60	63	120	211	
		実践福祉学専攻(修士課程)	10	10	20	20	
	大学院 仏教学研究科	仏教学専攻(修士課程)	20	20	40	65	
	大学院 環境学研究科	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	13	20	38	
	大学 人間科学部	人間科学科 ※5	250	169	2,400	2,838	
	大学 教育学部	教育学科 ※6	15	7	206	238	
	計	365	282	2,806	3,410		
専攻科(言語聴覚士養成課程)		30	19	60	29		
別科(日本語教育課程)		90	20	90	43		
別科(介護福祉士養成課程)		40	9	80	34		
武蔵野大学高等学校		400	237	1,200	909		
武蔵野大学中学校		250	170	750	480		
武蔵野大学附属千代田高等学院		200	188	600	576		
千代田女学園中学校 ※7		-	-	-	-		
武蔵野大学附属幼稚園		96	62	288	238		
武蔵野大学附属慈光保育園		12	6	12	12		
武蔵野大学附属有明こども園		80	77	280	246		
千代田インターナショナルスクール東京 初等部 ※8		40	0	200	104		
千代田インターナショナルスクール東京 中等部 ※8		40	0	160	11		
千代田インターナショナルスクール東京 高等部 ※8		40	0	120	0		

※1 平成28年度グローバル学部へ改組

※2 平成31年度経営学部経営学科、会計ガバナンス学科へ改組

※3 平成26年度法学部法律学科、政治学科と経済学部経済学科、経営学科へ改組

※4 平成27年度工学部に改組

※5 3年次編入学定員700人

※6 3年次編入学定員85人

※7 平成30年度より募集停止

※8 令和3年度より募集停止

(6) 収容定員充足率

(令和3年5月1日現在/単位:人・%)

区分	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率	収容定員	学生数	充足率
武蔵野大学大学院	365	300	82.19	381	267	70.07	427	276	64.63	464	304	65.51	479	304	63.46
武蔵野大学	8,235	8,551	103.83	8,829	8,743	99.02	9,348	8,965	95.90	9,832	9,200	93.57	10,260	9,698	94.52
武蔵野大学大学院通信教育部	180	250	138.88	190	280	147.36	200	293	146.50	200	332	166.00	200	334	167.00
武蔵野大学通信教育部	2,952	3,232	109.48	2,804	3,314	118.18	2,721	3,140	115.39	2,638	2,947	111.71	2,606	3,076	118.03
専攻科(言語聴覚士養成課程)	60	27	45.00	60	33	55.00	60	26	43.33	60	24	40.00	60	29	48.33
別科(日本語教育課程、介護福祉士養成課程)				90	17	18.88	90	57	63.33	130	88	67.69	170	77	45.29
武蔵野大学高等学校	1,200	564	47.00	1,200	560	46.66	1,200	593	49.41	1,200	876	73.00	1,200	909	75.75
武蔵野大学中学校	750	175	23.33	750	181	24.13	750	253	33.73	750	375	50.00	750	480	64.00
武蔵野大学附属千代田高等学校	600	232	38.66	600	270	45.00	600	322	53.66	600	529	88.16	600	576	96.00
千代田女学園中学校	600	64	10.66	500	35	7.00	400	16	4.00						
武蔵野大学附属幼稚園	288	296	102.77	288	304	105.55	288	298	103.47	288	273	94.79	288	238	82.63
武蔵野大学附属慈光保育園	12	11	91.66	12	11	91.66	12	12	100.00	12	12	100.00	12	12	100.00
武蔵野大学附属有明こども園										280	178	63.57	280	246	87.85
千代田インターナショナルスクール 初等部				200	62	31.00	200	105	52.50	200	115	57.50	200	104	52.00
千代田インターナショナルスクール 東京 中等部							160	11	6.87	160	25	15.62	160	11	6.87
千代田インターナショナルスクール 東京 高等部							120	1	0.83	120	3	2.50	120	0	0.00
総計	15,242	13,702	89.89	15,904	14,077	88.51	16,576	14,368	86.67	16,934	15,281	90.23	17,385	16,094	92.57

(7) 役員の概要

定員数(理事): 12名以上15名以内 現員数: 13名

定員数(監事): 2名 現員数: 2名

(令和3年5月1日現在)

種別	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	業務執行・非業務執行	主な現職
理事	長野 了法	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学理事長
	西本 照真	平成28年4月1日	常勤	業務執行	武蔵野大学長
	落合 恒	令和3年1月29日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学大学経営担当常務理事
	中村 好孝	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学中等経営担当常務理事
	横山 尚佳	令和2年6月1日	常勤	業務執行	学校法人武蔵野大学事務局長
	荒川 智行	平成25年2月14日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派信行寺住職
	白川 了信	平成24年6月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派法要庶務部長
	安永 雄彦	平成29年12月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
	石上 智康	平成4年6月16日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派総長
	平田 史郎	平成24年10月1日	非常勤	非業務執行	学校法人平田学園理事長
	大河原 遼平	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	弁護士
監事	池田 行信	令和2年11月19日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派総務
	山田 英昭	平成19年4月1日	非常勤	非業務執行	-
	芝村 正弘	平成20年10月1日	非常勤	非業務執行	浄土真宗本願寺派玄正寺衆徒
	松下 武義	令和2年6月1日	非常勤	非業務執行	-

責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

【契約名称】  
会社役員賠償責任保険

【被保険者】  
上掲の表記載の理事及び監事

【契約内容】  
被保険者が役員としての業務につき行った行為(不作為を含む)に起因して保険期間中に被保険者に対して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害に対して保険金の支払いが行われる。

【支払対象】  
法律上の損害賠償責任に基づく賠償金、損害賠償請求に関する争訟によって支出した訴訟費用、弁護士報酬等の費用。

【限度額】  
5億円

【契約期間】  
令和3年5月1日午後4時 ~ 令和4年5月1日午後4時

【契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置】  
当該保険契約の被保険者は本学の理事及び監事であり、すべての被保険者について、その保険料を全額本学が負担している。

## (8) 評議員の概要

定員数：28名以上34名以内

現員数：31名

(令和3年5月1日現在)

氏名	就任年月日	主な現職
日野田 直彦	平成30年4月1日	中高等学校園長、千代田女学園中学校長
水谷 直子	令和2年6月1日	武蔵野大学附属有明こども園長
大迫 弘和	令和2年6月1日	千代田インターナショナルスクール東京学園長
石上 和敬	令和2年7月1日	武蔵野大学附属幼稚園長
北條 英勝	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
上岡 学	令和2年6月1日	武蔵野大学副学長
小西 聖子	令和3年4月1日	武蔵野大学副学長
村松 陸雄	令和2年6月1日	武蔵野大学教務部長
伊藤 泰彦	令和2年6月1日	武蔵野大学学生部長
齋藤 祐介	令和3年4月1日	武蔵野大学高等学校教頭
岡田 孝子	平成28年6月14日	武蔵野大学附属千代田高等学院教頭
本橋 一聰	令和3年1月29日	学校法人武蔵野大学事務局次長
長野 了法	令和2年6月1日	学校法人武蔵野大学理事長
安永 雄彦	平成29年11月20日	浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長
池田 行信	令和2年7月1日	浄土真宗本願寺派総務
柳川 信澄	平成9年4月1日	-
藤谷 光信	平成19年4月1日	岩国南幼稚園学園長
斯波 照雄	平成27年4月1日	浄土真宗本願寺派光徳寺住職、中央大学名誉教授
平山 眞見	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会会長
牛田 きぬ	令和3年4月1日	武蔵野大学同窓会副会長
八木 新子	平成12年4月5日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会顧問
阿部 美枝子	平成25年4月1日	武蔵野大学中学校・高等学校同窓会会長
高柳 由美子	平成28年4月1日	千代田同窓会顧問
鷹谷 俊昭	平成7年4月1日	社会福祉法人大心会理事
小幡 哲夫	平成4年4月1日	医療法人社団哲富会小幡歯科クリニック理事長
小林 泰善	平成19年6月1日	社会福祉法人稲田福祉会理事長
吉國 眞一	平成20年6月1日	株式会社サンテック社外監査役
西原 祐治	平成23年6月1日	宗教法人西方寺（浄土真宗本願寺派）代表役員
白川 了信	平成24年6月1日	浄土真宗本願寺派法要庶務部長
立石 晴康	平成26年6月1日	社会福祉法人シルバーウィング理事
藤音 浩	平成28年6月1日	株式会社ウィズ・パートナーズ

## (9) 教職員の概要

●令和3年度教職員数

(令和3年5月1日現在/単位:人)

		法人	大学	武蔵野大学 高等学校	武蔵野 大学 中学校	武蔵野 大学附属 千代田 高等学院	武蔵野 大学附属 幼稚園	武蔵野 大学附属 有明 こども園	武蔵野 大学附属 慈光 保育園	千代田インター ナショナルスクール 東京	計												
教 員	専 任	教授	173	(159)							173	(159)											
		准教授	69	(68)							69	(68)											
		講師	67 ※2	(62)								67	(62)										
		助教	35	(33)								35	(33)										
		助手	10	(11)								10	(11)										
		教諭			49	(47)	20	(19)	35	(34)	11	(11)	30	(29)	28	(27)	173	(167)					
		常勤講師					12	(9)	6	(6)					18	(15)							
	計		354	(333)	49	(47)	20	(19)	47	(43)	17	(17)	30	(29)		28	(27)	545	(515)				
	非 常 勤	講師(客員 を含む)		795	(858)	19	(29)	10	(5)	21	(23)					1	(4)	846	(919)				
		委託・兼務		130	(133)													130	(133)				
計			925	(991)	19	(29)	10	(5)	21	(23)					1	(4)	976	(1,052)					
合 計			1,279	(1,324)	68	(76)	30	(24)	68	(66)	17	(17)	30	(29)		29	(31)	1,521	(1,567)				
職 員	専 任	総合職・ 一般職	15 ※1	(10)	203 ※3	(196)	9	(10)			4	(4)	2	(2)	3	(3)	3	(3)	6	(7)	245	(235)	
		実習助手		2	(2)																	2	(2)
		嘱託		36 ※4	(47)	7 ※5	(7)	1	(1)	3	(3)	1	(1)	2	(2)					2	(2)	52	(63)
	計	15	(10)	241	(245)	16	(17)	1	(1)	7	(7)	3	(3)	5	(5)	3	(3)	8	(9)	299	(300)		
	非 常 勤	嘱託		88	(82)	8	(8)			2		12	(14)	18	(9)	9	(9)	9	(9)	6	(5)	143	(127)
		計		88	(82)	8	(8)			2		12	(14)	18	(9)	9	(9)	9	(9)	6	(5)	143	(127)
合 計		15	(10)	329	(327)	24	(25)	1	(1)	9	(7)	15	(17)	23	(14)	12	(12)	14	(14)	442	(427)		
総 計		15	(10)	1,608	(1,651)	92	(101)	31	(25)	77	(73)	32	(34)	53	(43)	12	(12)	43	(45)	1,963	(1,994)		

[注] 1. ( )内は、令和2年5月1日現在の数字を示す。

2. 大学に通信教育部教職員を含む。

※1. 出向者8名を含む。

※2. 出向受入者4名を含む。

※3. 出向受入者4名を含む。

※4. 出向受入者4名を含む。

※5. 出向受入者1名を含む。

(10) その他

① 大学組織図

I. 学部・学科等

大学院	文学研究科	日本文学専攻	修士課程 博士後期課程	
	言語文化研究科	言語文化専攻	言語文化コース ビジネス日本語コース	修士課程
				博士後期課程
	法学研究科	ビジネス法務専攻	修士課程 博士後期課程	
	政治経済学研究科	政治経済学専攻	修士課程 博士後期課程	
	経営学研究科	会計学専攻	修士課程	
	データサイエンス研究科	データサイエンス専攻	修士課程 博士後期課程	
	人間社会研究科	人間学専攻	人間行動学コース 臨床心理学コース 言語聴覚コース	修士課程
				博士後期課程
		実践福祉学専攻	修士課程	
	仏教学研究科	仏教学専攻	修士課程 博士後期課程	
	工学研究科	数理工学専攻	修士課程 博士後期課程	
		建築デザイン専攻	修士課程	
	環境学研究科	環境マネジメント専攻	修士課程	
		環境システム専攻	博士後期課程	
	教育学研究科	教育学専攻	修士課程	
	薬科学研究科	薬科学専攻	修士課程 博士後期課程	
看護学研究科	看護学専攻	修士課程 博士後期課程		
通信教育部	人間社会研究科	人間学専攻 実践福祉学専攻	修士課程 修士課程	
		仏教学研究科	仏教学専攻	修士課程
	環境学研究科	環境マネジメント専攻	修士課程	
大学	文学部	日本文学文化学科		
	グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科		
		日本語コミュニケーション学科		
	グローバル・コミュニケーション学部 ※1	グローバル・コミュニケーション学科		
	法学部	法律学科		
		政治学科		
	経済学部	経済学科		
		経営学科 ※2 会計ガバナンス学科 ※2		
	経営学部	経営学科 会計ガバナンス学科		
	アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科		
	データサイエンス学部	データサイエンス学科		
	政治経済学部 ※3	政治経済学科		
	人間科学部	人間科学科		
		社会福祉学科		
	工学部	環境システム学科		
		数理工学科 建築デザイン学科		
	環境学部 ※4	環境学科		
	教育学部	教育学科		
		幼児教育学科		
	薬学部	薬学科		
	看護学部	看護学科		
通信教育部	人間科学部	人間科学科	心理学専攻 仏教学専攻 社会福祉専攻	
	教育学部	教育学科		
専攻科（言語聴覚士養成課程）				
別科（日本語教育課程）				
別科（介護福祉士養成課程）				

II. 研究所・研究施設

Musashino University Creating Happiness Incubation (武蔵野大学しあわせ研究所)
仏教文化研究所
能楽資料センター
教養教育リサーチセンター
武蔵野文学館
日本文学研究所
グローバルスタディーズ研究所
国際総合研究所
法学研究所
政治経済研究所
経営研究所
アントレプレナーシップ研究所
アジアAI研究所
心理臨床センター
認知行動療法研究所
人間科学研究所
環境研究所
建築研究所
数理工学センター
教育学研究所
薬学研究所
薬学部臨床薬学センター
薬学キャリア教育研究センター
看護学研究所

III. センター・付属施設等

図書館
教職センター
学院体育センター
国際センター
ランゲージセンター
ボランティアセンター
産官学連携・研究推進センター
健康管理センター
学外学修推進センター
キャリアセンター
Musashino University Smart Intelligence Center (MUSIC)
孔子学院
武蔵野大学出版会
附属薬用植物園

※1 平成28年度グローバル学部に改組

※2 平成31年度経営学部経営学科、会計ガバナンス学科に改組

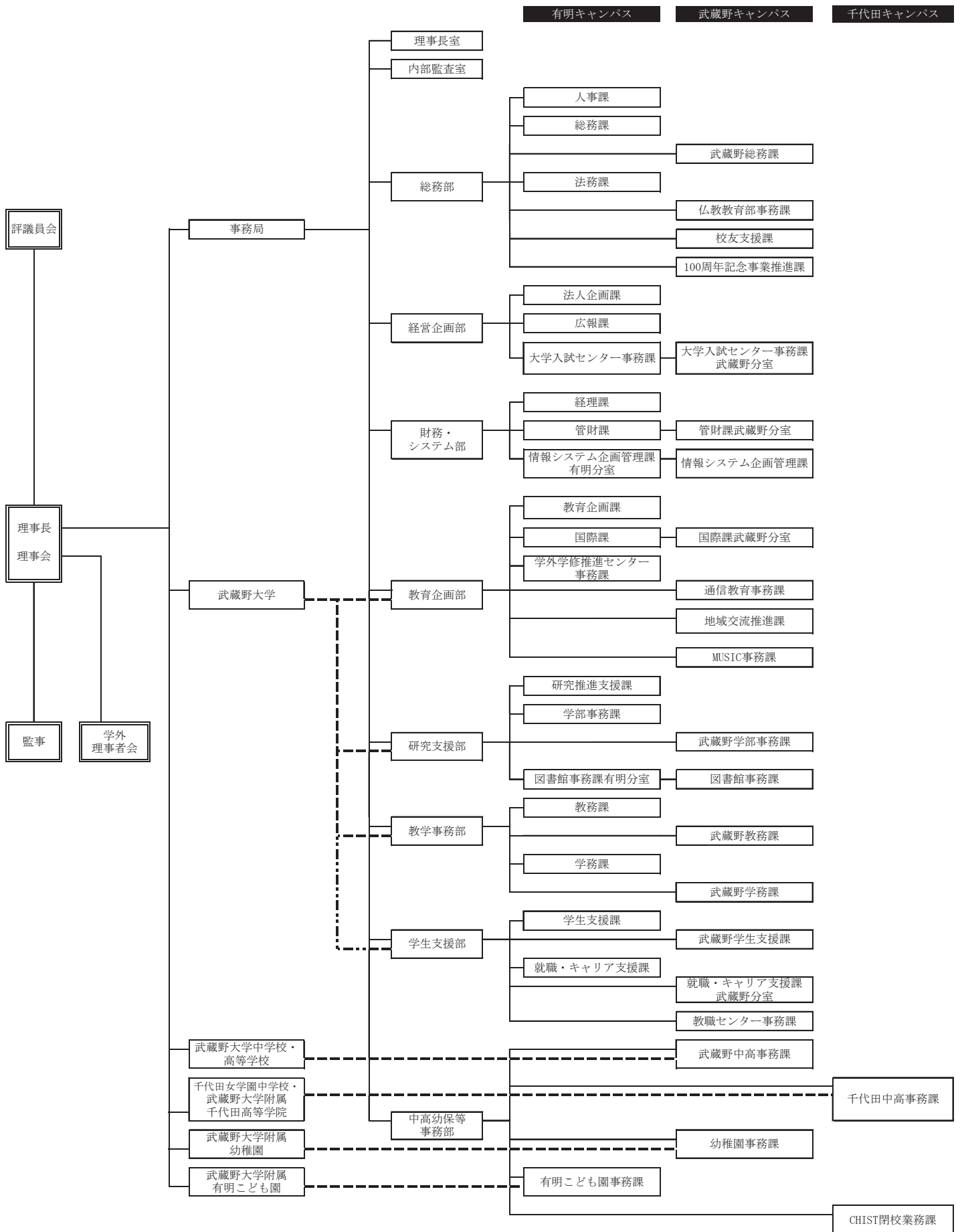
※3 平成26年度法学部法律学科、政治学科と経済学部経済学科、経営学科に改組

※4 平成27年度工学部に改組



② 事務組織図

(令和3年8月1日現在)



## 2. 事業の概要

### (1) 主な教育・研究の概要

#### ①武蔵野大学・大学院

##### I. 卒業の認定に関する方針

武蔵野大学は、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献する人材を育成します。

<知識・専門性>学びの基礎力を基盤とした専門能力

- ・ 教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる「教養・基礎学力」
- ・ 自ら積極的に専門分野の知識や技能の体系的な修得を行い他者に説明できる「専門能力」

<関心・態度・人格>他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

- ・ 自らを他者や社会との関わりのなかで捉え、多様な価値観を認めることができる「自己認識力・他者理解力」
- ・ 自ら課題を感じ取り、共有することができる「課題発見力」
- ・ 自ら積極的に社会に働きかけて、最後まで行動していくことができる「主体性・実行力・ストレスコントロール力」
- ・ 自ら一人ひとりの幸せ、世界の幸せのために行動できる「人格形成・使命感」

<思考・判断>課題を多角的に捉え、創造的に考える力

- ・ 自ら積極的に情報収集を行い、問題に対して論理的に思考し、多角的な判断できる「情報分析・論理的思考・判断力」
- ・ 課題に対し、仮説をたてながら、調査、分析して適切な答えを導くことができる「課題解決力」
- ・ 自ら制約された条件の中でも多くの可能な解答を出す発散的な思考ができる「創造的思考力」

<実践的スキル・表現>多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

- ・ 自ら複数の言語を活用して、的確に読み、書き、聞き、他者に伝えることができる「コミュニケーション力・語学力」
- ・ 自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、文書や、図解等を用いて論文や報告書にまとめて発表することができる「表現力」
- ・ 自ら対話を通じて他者と協力し、目標実現のために方向性を示し実行できる「傾聴力・チームワーク・リーダーシップ」

##### II. 教育課程の編成及び実施に関する方針

武蔵野大学のカリキュラムは、卒業生の一人ひとりが地球規模のつながりの中で生きる一人の人間として、どんな社会においても、またどんな状況・場面にあっても普遍的に求められるさまざまなスキルをすべての学部学生の基礎力として涵養・育成し、時代や国・地域を超えた

貢献を適える人材を未来に向けて輩出することを目的としています。

この目的を実現するために体系化された初年次からの全学共通基礎課程「武蔵野 INITIAL」の学修により、その能力開発および定着を徹底する。また、各学部における専門分野の知識と技能が身につけられるように段階的、体系的なカリキュラム編成を行い、それとの連続性をもって学士課程における目標を達成していきます。

### Ⅲ. 入学者の受入れに関する方針

武蔵野大学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を養い、「アクティブな知」を備え、創造的に思考・表現することのできる人材を育成し、一人ひとりの幸せ、世界の幸せに貢献していきます。

武蔵野大学の建学の精神、基本目標を理解するとともに、本学の人材育成方針に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持った者の入学を期待しています。入学者の受け入れは、以下に挙げる点に留意して実施します。

- ・ 各学部・研究科の教育目的に相応しい人材を多面的に審査・評価する
- ・ 基礎学力と専門教育に関する教科の理解度、並びに人物の適性等について審査・評価する
- ・ 学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性等を高校在学時の活動状況等から審査・評価する

学生には、以下の点を期待しています。

＜知識・専門性＞ 各学科の教育目的に相応しい知識を備えていること

＜関心・態度・人格＞ 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す意思を持つ者

＜思考・判断＞ 課題を多角的にとらえ、創造的に考える意思を持つ者

＜実践的スキル・表現＞ 多様な人々のなかで、自らを考え表現・発信する意思を持つ者

## ②武蔵野大学中学校・高等学校

### I. 教育目標

「いかなる生徒を育成するか」

- ・ 「明るい知性と豊かな情操」とをかねそなえた「聡明にして実行力のある人間」の育成。
- ・ 「人の幸せを願う心」、「自己中心。自己絶対視を改める心」、「正しい判断力」、「良き社会人として通用する自立心」の育成。

### II. 教育方針

「人格形成のための六つの徳目」

＜布施＞人の痛みがわかる「優しい心の育成」。

＜禅定＞規則、マナーを自発的に守る心の育成。

＜持戒＞自制心の確立。

＜忍辱＞まじめに生きる姿勢の確立。

＜精進＞集中力の育成。

＜知恵＞正しい思考、判断力の育成。

### ③武蔵野大学附属千代田高等学院

#### I. 教育方針

「Challenge Change Contribute」

##### 1) Challenge

失敗を恐れずに挑戦し続ける姿勢を応援します。挑戦し、フィードバックをたくさんもらうことで、人は成長していきます。正解のない時代だからこそ、小さなチャレンジを続けることが重要だと考えます。

##### 2) Change

変化に対して、常に柔軟で、前向きであってほしいと考えます。現在、世の中はものすごいスピードで変化しています。そのような中、しっかりと自分の軸(Who you are.)を持ちながら、それを中心に柔軟にピボットできる生徒を育てたいと思います。

##### 3) Contribute

常に「なんのために？」を考え、目的意識を持った行動ができるように支援します。小さなことでもいいので、自分の身の回りの社会に対して貢献する意識を持ち、自分の人生にオーナーシップを持てるよう、指導しています。

### ④武蔵野大学附属幼稚園

#### I. 教育目標

- ・ 仏の心を身につけた子どもに
- ・ 自主的な生活のできる子どもに
- ・ 健康なからだで明るい子どもに
- ・ 友だちと仲良くできる子どもに
- ・ 豊かな情操を持った子どもに

### ⑤武蔵野大学附属有明こども園

#### I. 教育理念

「響き合う保育」

一人ひとりの個性はさまざま。それぞれが“遊び込む”ことを通して素敵な音色を奏で、それが重なり響き合い、世界のしあわせを願うハーモニーとなるように、子どももおとなも共に感じ合い、育ちあう保育を目指します。

##### ➤思う存分遊び込み、生きる力を身につける

子どもにとって大切なことは「遊び込む」ことです。自ら遊び込むことで、ものの不思議さに気づき、好奇心・探究心を育てていきます。また、工夫して遊ぶ楽しさや達成感を味わうことが自信につながり、“生きる力”の根源でもある自己肯定感をもつことが出来ます。保育者や友だちと安心して過ごす中で、思う存分遊び込み、“生きる力”を身につけていきます。

##### ➤本物に触れ、豊かな感性を育てる

武蔵野大学教育学部と連携して、学内外の各分野の専門家による“わくわくプログラム”で本物に触れる体験をして、豊かな感性を育てていきます。子育て支援として未就園児親

子対象のイベントや講演会、園庭開放、育児相談など、地域との交流を大切にしたい、開かれたこども園にしていきます。

➤ 仏の心を大切に

本園は浄土真宗本願寺派のこども園です。自然に触れ、また子ども同士がふれあい、生活する中で、生命の尊さに気付き、万物の恵みに感謝して手を合わせる、心優しい子どもを育てていきます。

## (2) 中期的な計画及び事業計画の進捗達成状況

### ① 事業計画の進捗・達成状況（主な取り組み、成果等の概要）

#### I. 武蔵野大学・大学院

武蔵野大学・大学院では6つのチャレンジを掲げており、各チャレンジの主な取り組みの進捗・達成状況は以下のとおりである。

#### 1) チャレンジ1 自己と世界を問う

- ・中期計画として「SDGsの17目標に向けての全学的な取組の推進」「自己の生き方を問いつつHappiness Creatorとして歩む志、能力の確立」を掲げており、事業計画の「武蔵野メソッドFD実施」「新カリキュラム実行開始」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。特に、「武蔵野メソッドFD実施」では、「響学スパイラル（本学に集うあらゆる人々が感性、知恵、響創力を互いに響き合わせ、問い、考動し、カタチにして、見つめ直すという、4つのステップを繰り返しながらともに学び、成長していく学びのスタイル）」を開発し、学内定着を推進するためのFD研修やシラバスへの組み込み等を実施した。
- ・SDGs白書の作成が検討段階にとどまっている等の課題もあるが、目標として設定した「自学自修時間週6時間以上の学生割合」「授業理解度の割合」等は目標値を超えた。コロナ禍により、授業課題の工夫が行われたことと併せ、学生が自ら学ぶ機会が増えたことによると考えられる。
- ・今後は、学修者の主体的な学びの姿勢を引き出し知識・能力を涵養する学修の仕組みづくりに寄与することを目的とし、令和4年4月に設置された「響学開発センター」を中心に、学修者本位の教育を進めていく。

#### 2) チャレンジ2 未来の世界を創る creative な実践者輩出

- ・中期計画として「学修者本位のカリキュラムの構築と教育力の向上」「未来の世界を担う creative な知をカタチにできる人材の輩出」「社会の変化を包摂する専門的知見に基づく解を提示する研究力の向上」を掲げ、事業計画の「AI活用エキスパートコース開始」「アセスメントツールに基づくキャリアセンターの活用促進」「学内公募説明会等による外部資金研究費獲得支援」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・学修者本位の教育改革については、教員評価制度の検討が十分に進んでいないこと、公務員試験の合格者数や著名企業就職者数が伸び悩んでいること等の課題もあるが、情報副専攻コースの全学的な開講、ST比率の改善等の目標を達成した。情報副専攻コースでは入門・基礎科目を実施し、約250名が規定の単位を修得した。また、正課授業の学外学修プログラム

「フィールド・スタディーズ (FS)」では、学修者本位の FS 構築のため、学生企画プログラムを提案・発表する学外学修アワードイベントを開催し、翌年度以降の学生主体プログラムの新規構築に繋げている。

- ・キャリア教育・就職支援については、主体的に社会に貢献できる人材を輩出するため、在学期間を通じて学生のキャリア形成を推進することを目的としたキャリアセンターを新たに設置した。今後、全学的なキャリア教育及び就職支援に関する基本計画を策定し推進する。
- ・研究推進については、Creative 研究計画推進委員会を立ち上げ、研究に関するインセンティブ等研究推進に関することを一元化して検討する体制を構築した。

### 3) チャレンジ3 AI世界を先導するMUSIC

(Musashino University Smart Intelligence Center)

- ・中期計画として「情報教育・学習環境の整備」「教育の情報・スマート化」「AI—Ready—University を目指した情報・AI教育のブランド化」を掲げ、事業計画の「武蔵野キャンパス主要教室でのデジタル化」「ストレスフリーなネットワーク環境」「2021 サブメジャーコースも含めた新情報教育スタート」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・情報化の基盤となる設備については、LMSについて情報収集の段階に留まっている等の課題もあるが、武蔵野キャンパス教室のデジタル化、有明・武蔵野両キャンパス教室のハイフレックス対応、無線LAN・電源の確保等の整備が完了した。
- ・教育現場を支援するスマートサービスについては、オンラインチューターサービスを情報科目で実験的に実施し、そのやりとりをデータとして整理してチャットボット化を進めた。

### 4) チャレンジ4 Global&Universal

- ・中期計画として「世界に羽ばたき、世界を迎え入れる学部学科でのグローバル人材育成」「国内授業における外国語科目の強化」「ユニバーサルなキャンパス空間と学生支援」を掲げ、事業計画の「海外渡航における危機管理の充実」「外国語科目の充実を検討」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。新型コロナウイルスの影響により事業計画を変更せざるを得ない事業が複数あった。
- ・海外経験の促進については、外国語で修了できる科目・コースの設置ができていないこと等の課題もあるが、第二外国語の履修者数は増加しており目標を達成した。また、海外派遣については、新型コロナウイルスの影響によりオンラインプログラムを充実させ、21プログラム約530名の参加となった。その他、留学フェアの開催や危機管理体制の充実等、新型コロナウイルス終息後の留学再開へ向けて準備を進めた。
- ・ユニバーサルなキャンパス空間の整備については、多様な立場の学生に寄り添うことができるキャンパス環境を目指し、学生による全学的調査及びグループインタビューを行った。

### 5) チャレンジ5 MU-GEN (Musashino University GENERations) につながる Infinite Linking

- ・中期計画として「武蔵野の教育メソッドを活用した各種連携（中高大接続、地域連携、通信教育、大学間・産官学連携）」「武蔵野の教育メソッドを活用した卒業後学修支援」「武蔵野サングの醸成（卒業生・退職者・在学生・教職員・後援会の連携）」を掲げ、事業計画の「データサイエンス教育等を活用した高大接続試行版の実践」については、実施展開や成果分析・

改善段階に至った。各事業計画の計画・立案段階において、卒業生や社会との接点の持ち方、特に、通信教育や生涯学習の在り方の議論が進む中で、当初計画の内容を変更せざるを得ない事業が多く生じた。

- ・千代田高等学院との高大接続については、過去の課題を整備することにより、大学の情報教育科目を千代田高等学院にて実施する等の事業を円滑に推進した。
- ・卒業生との繋がりについては、令和3年度新たに「校友サポートサイト」を開設し、法人情報の発信を行った。

#### 6) チャレンジ6 共に5つのチャレンジを実現する学生の安定的な確保

- ・中期計画として「武蔵野大学のビジョンの社会的認知と共鳴する優秀な人材の確保」  
「Society 5.0時代のニーズに即応した学部学科の新設再編」「社会的評価指標の向上」「社会に輩出する学生数の減耗の極小化」を掲げ、事業計画の「入学者の充足」「新学部学科の設置や学部学科の再編の検討」「2021 大学ランキングの結果分析と対策の検討」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・大学入試については、志願者数が前年より減少したものの、入学者数は入学定員どおりに確保することができた。
- ・学部学科・研究科の再編等については、データサイエンス研究科（博士後期課程）の令和4年度設置、工学部サステナビリティ学科の令和5年度設置等を推進した。
- ・「THE 世界大学ランキング日本版」については、総合ランキング 150 位を目標とし、131-140 位となった。分野別ランキングにおいては、教育充実度が 123 位に初めてランクインした。
- ・奨学金制度については、奨学金見直し検討委員会を発足し、令和5年度以降の奨学金制度を検討した。その後、委員会の答申を踏まえた奨学金新制度が決定し、今後、規程等の整備を進めていく。

### II. 武蔵野大学中学校・高等学校

- ・中期計画として「真なるグローバル人財育成のためのシステムの構築」「サイエンスを身につけるためのシステムの構築」「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「海外大学進学に向けた勉強会の開催」「国公立・最難関私立への指導強化に向けた研修会及び見学会の開催」「ICT 関連備品整備」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・教員の研修が十分に進んでいない等の課題もあるが、設備の整備については、ICT及び理科機器、進路指導室等の教育目的の改修等を順調に実施することができた。また、生徒数増加に伴う工事等は概ね完了した。
- ・教員主体でホームページの内容及び構成を検討し、リニューアルを行った。

### III. 武蔵野大学附属千代田高等学院

- ・中期計画として「国内難関大学・海外大学への合格力を高める」「想像力と教養力の育成」  
「教員が改革推進に対して一致団結して取り組む体制の確立」等を掲げ、事業計画の「海外大学への進学のノウハウの蓄積に向けた進路指導部の体制整備」「各授業の品質と大学進学指

導力の向上に向けた教務部の体制整備」「職員室の新レイアウト及びOAフロア化」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。

- ・卒業後の進路については、進路指導体制の整備、外部リソースの活用、最先端教育コンテンツの導入等により、海外大学及び国内難関大学へ進学者を輩出することができた。
- ・施設整備においては体育施設等の整備が進んでいない等の課題もあるが、教育課程の運用においては選択と集中によるコース再編と教育課程の整理、専任比率の適正化等の事業が順調に進んだ。

#### IV. 武蔵野大学附属幼稚園・慈光保育園

- ・中期計画として「目標を具現化した競争力のある教育を企画・実施して、園児を成長させる」「きめ細かい保育を企画・実施して、園児を成長させる」「保護者も満足できる教育の実施」等を掲げ、事業計画の「育児相談の実施」「老朽化した遊具（すべり台）の更新」「保護者が望む課外活動の開始、大学教員による講座の開設、給食の充実」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・保護者から要望の多かった書道教室等の課外活動及び給食を開始した。
- ・定員充足はできなかったものの、広報活動の強化等により幼稚園の入園者数は前年を上回った。

#### V. 武蔵野大学附属有明こども園

- ・中期計画として「園児と保護者の満足度が高まる教育・保育の質の向上を目指しつつ、円滑で安定した運営を行う」「園児が自発的に遊び込み、生きる力を身につけられるよう、わくわくプログラムを実施する等、教育・保育環境を充実する」「地域に開かれた施設として、地域子育て支援プログラムを通し、こどもの健全育成及び子育て世代の家庭の支援を図る」等を掲げ、事業計画の「園内外の研修や武蔵野大学教育学部との共同研究等を通じた教職員の指導力の向上」「地域の子育ての拠点となるよう子育てに関する講習会や絵本の読み聞かせ会等の充実」「プール用簡易温水シャワー整備」等については、実施展開や成果分析・改善段階に至った。
- ・武蔵野大学と連携し、各分野の専門家が考案する、ネイティブによる外国のことば・文化等の本物に触れる体験を通じて豊かな感性を育てる「わくわくプログラム」を全21回実施し、園児及び保護者に好評であった。
- ・保護者から要望の多かった園バスの運行を検討し、令和4年度中に開始する予定となった。

#### VI. 法人

- ・中長期計画として「仏教精神の普及」、「ガバナンス構築」、「人事・組織の活性化」、「100周年記念事業企画・推進」及び「経営指標に基づく財政の安定化」等を掲げ、令和3年度事業計画に取り組んだ。
- ・法人ガバナンス改善・強化の一環として、理事・監事・設置する学校長の候補者資格要件を規程に明示し、役員等候補者選考委員会を設置し選任プロセスを明確化した。また、学校法人武蔵野大学ガバナンス・コードを制定・公開し、年度末に点検結果を公開した。
- ・事務局の内部統制改善と事務組織の活性化のため、事務組織を改編し事務管理機能を強化した。併



せて人事制度の改革により、職員各位に期待される行政職の要件を明示した。

- 100周年記念事業の「趣意」を明示するとともに、各プロジェクトの長期的な意義を盛り込んだ各プロジェクトの具体化を進めた。また、100周年記念ロゴマーク及びメッセージコピーを制定し、各関係者に向けて本格的な情報発信を進める。
- 財務については、「経営指標を用いた財務計画」を、長期施設設備整備計画及び長期人員計画に基づく10年間の「長期財政計画」に発展させた。併せて、健全で安定した財政の状態を確認する財政指標を制定した。
- 施設設備では、有明キャンパスに5号館が完成した。今後の長期施設設備整備計画のため、「学院キャンパス施設等検討委員会」を常設し施設取得等を検討する体制が整備された。

### 3. 財務の概要

#### (1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:百万円)

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定資産	58,614	60,210	63,033	67,057	70,422
流動資産	4,795	4,303	10,300	8,573	7,510
資産の部 合計	63,409	64,513	73,333	75,630	77,932
固定負債	4,288	4,208	10,615	13,158	12,646
流動負債	3,765	3,562	4,332	4,541	5,154
負債の部 合計	8,053	7,770	14,947	17,699	17,800
基本金	61,712	63,430	65,701	67,896	69,089
繰越収支差額	-6,356	-6,687	-7,316	-9,964	-8,956
純資産の部 合計	55,356	56,743	58,386	57,932	60,132
負債及び純資産の部 合計	63,409	64,513	73,333	75,630	77,932

注 本表に記載した数値は、原則として単位未満を四捨五入した。したがって合計と内計が一致しない場合がある。(以下同様)

#### (2) 資金収支計算書の状況と経年比較

##### 【収入の部】

(単位:百万円)

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	11,535	12,377	12,651	13,340	14,305
手数料収入	473	562	596	577	518
寄付金収入	135	206	181	259	135
補助金収入	2,079	2,244	2,275	2,881	3,046
資産売却収入	166	810	836	3,342	744
付随事業・収益事業収入	312	350	310	205	256
受取利息・配当金収入	67	48	34	26	44
雑収入	440	327	405	417	704
借入金等収入	200	200	6,790	0	1
前受金収入	2,354	2,384	2,789	2,736	3,252
その他の収入	※ 52,930	7,854	3,305	6,805	6,720
資金収入調整勘定	-2,611	-2,639	-2,678	-3,158	-3,150
前年度繰越支払資金	4,562	4,271	3,393	9,617	7,388
収入の部 合計	72,642	28,996	30,885	37,047	33,963

##### 【支出の部】

(単位:百万円)

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	6,907	7,403	7,880	7,866	8,265
教育研究経費支出	3,915	4,381	4,158	4,634	5,324
管理経費支出	1,104	984	953	872	967
借入金等利息支出	42	34	37	64	59
借入金等返済支出	504	391	169	369	369
施設関係支出	1,958	2,535	2,101	2,690	3,353
設備関係支出	1,190	273	321	510	746
資産運用支出	※ 53,409	9,216	5,383	12,243	8,921
その他の支出	756	992	1,152	1,631	2,363
資金支出調整勘定	-1,415	-606	-885	-1,219	-953
翌年度繰越支払資金	4,271	3,393	9,617	7,388	4,547
支出の部 合計	72,642	28,996	30,885	37,047	33,963

※ 定期預金約100億円を年数回解約と預入処理したことが、特定資産取崩収入と特定資産繰入支出に両方に計上されている。

(単位:百万円)

(a) 前年度繰越支払資金	4,562	4,271	3,393	9,617	7,388
(b) 翌年度繰越支払資金	4,271	3,393	9,617	7,388	4,547
差異 (b)-(a)	-291	-878	6,224	-2,229	-2,841

(3) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による収支	収入					
	学生生徒等納付金収入	11,535	12,377	12,651	13,340	14,305
	手数料収入	473	562	596	577	518
	特別寄付金収入	117	121	97	210	103
	一般寄付金収入	0	1	1	1	0
	経常費等補助金収入	2,038	2,206	2,259	2,867	3,033
	付随事業収入	312	324	310	205	256
	雑収入	440	327	405	417	704
	教育活動資金収入計	14,916	15,917	16,318	17,617	18,918
	支出					
人件費支出	6,907	7,403	7,880	7,866	8,265	
教育研究経費支出	3,915	4,381	4,158	4,634	5,324	
管理経費支出	1,104	984	953	872	967	
教育活動資金支出計	11,926	12,768	12,991	13,372	14,556	
差引	2,990	3,149	3,327	4,245	4,362	
調整勘定等	-12	36	178	180	-159	
教育活動資金収支差額	2,978	3,185	3,505	4,425	4,203	
施設整備等活動による資金収支	収入					
	施設設備寄付金収入	18	85	83	48	32
	施設設備補助金収入	41	38	16	13	13
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	8,727	2,763	638	40	1,035
	施設設備整備引当特定資産取崩収入	42,517	2,800	1,714	6,308	3,306
	施設整備等活動資金収入計	51,302	5,687	2,451	6,410	4,386
	支出					
	施設関係支出	1,958	2,535	2,101	2,690	3,353
	設備関係支出	1,190	273	321	510	746
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	8,243	1,600	2,018	1,380	580
施設設備整備引当特定資産繰入支出	43,817	2,697	2,339	3,788	2,516	
施設整備等活動資金支出計	55,209	7,105	6,779	8,367	7,195	
差引	-3,906	-1,418	-4,328	-1,958	-2,808	
調整勘定等	750	-187	-5	-45	-133	
施設整備等活動資金収支差額	-3,157	-1,605	-4,333	-2,003	-2,942	
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	-179	1,579	-828	2,422	1,261	
その他の活動による資金収支	収入					
	借入金等収入	200	200	6,790	0	1
	有価証券売却収入	166	809	836	3,342	744
	第3号基本金引当特定資産取崩収入	663	113	415	1	803
	退職給与引当特定資産取崩収入	500	1,600	200	0	254
	修学旅行費等預り資産取崩収入	24	0	0	0	0
	預り金受入収入	50	107	64	169	77
	その他の収入	166	80	11	21	949
	小計	1,769	2,908	8,316	3,532	2,828
	受取利息・配当金収入	67	48	34	26	44
収益事業収入	0	27	0	0	0	
その他の活動資金収入計	1,836	2,983	8,350	3,558	2,872	
支出						
借入金等返済支出	504	391	169	369	369	
有価証券購入支出	168	3,505	0	0	4,741	
第3号基本金引当特定資産繰入支出	678	245	683	245	740	
退職給与引当特定資産繰入支出	500	1,051	222	47	339	
預り金支払支出	24	70	5	6	53	
その他の支出	10	166	181	7,399	672	
小計	1,884	5,428	1,259	8,067	6,915	
借入金等利息支出	42	34	37	64	59	
その他の活動資金支出計	1,927	5,462	1,297	8,131	6,975	
差引	-91	-2,479	7,053	-4,573	-4,102	
調整勘定等	-22	21	-1	-79	0	
その他の活動資金収支差額	-113	-2,458	7,053	-4,651	-4,102	
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	-291	-877	6,224	-2,229	-2,841	
前年度繰越支払資金	4,562	4,271	3,393	9,617	7,388	
翌年度繰越支払資金	4,271	3,393	9,617	7,388	4,546	

(4) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位:百万円)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
教育活動収支	収入	学納金	11,535	12,377	12,651	13,340	14,305
		手数料	473	562	596	577	518
		寄付金	125	129	99	211	103
		経常費等補助金	2,038	2,206	2,259	2,867	3,033
		付随事業収入	312	324	310	205	256
		雑収入	449	333	406	419	391
		教育活動収入計 ①	14,931	15,929	16,320	17,619	18,605
	支出	人件費	6,784	7,490	7,902	7,913	8,350
		教育研究経費	5,329	5,903	5,683	6,315	7,238
		管理経費	1,288	1,170	1,109	1,045	1,171
徴収不能額等		24	22	27	28	18	
教育活動支出計 ②	13,424	14,585	14,721	15,301	16,778		
教育活動収支差額 ③=①-②		1,507	1,345	1,599	2,319	1,827	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	67	48	34	26	44
		その他の教育活動外収入	0	27	0	0	0
		教育活動外収入計 ④	67	75	34	26	44
	支出	借入金等利息	42	34	37	64	59
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計 ⑤	42	34	37	64	59
教育活動外収支差額 ⑥=④-⑤		24	41	-3	-38	-15	
経常収支差額 ⑦=③+⑥		1,531	1,385	1,596	2,281	1,811	
特別収支	収入	資産売却差額	166	39	0	241	36
		その他の特別収入	83	152	116	74	397
		特別収入計 ⑧	249	191	116	316	433
	支出	資産処分差額	182	67	35	128	44
		その他の特別支出	0	123	35	2,923	0
特別支出計 ⑨		182	189	70	3,051	44	
特別収支差額 ⑩=⑧-⑨		66	2	46	-2,735	389	
基本金組入前当年度収支差額 ⑫=⑦+⑩		1,598	1,387	1,643	-454	2,201	
基本金組入額合計 ⑬		-1,776	-1,730	-2,278	-2,198	-1,315	
当年度収支差額 ⑮=⑫+⑬		-179	-343	-636	-2,652	885	
前年度繰越収支差額 ⑯		-6,354	-6,356	-6,687	-7,316	-9,964	
基本金取崩額 ⑰		177	13	7	3	123	
翌年度繰越収支差額 ⑱=⑮+⑯+⑰		-6,356	-6,687	-7,316	-9,964	-8,956	
事業活動収入(帰属収入)		15,247	16,196	16,471	17,961	19,081	
事業活動支出(消費支出)		13,649	14,809	14,828	18,415	16,881	

## (5) 財務比率の経年比較

- 資産運用収入には有価証券売却差額、有価証券処分差額を含み、補助金は経常費等補助金と施設設備補助金の合計額としている。

(各比率の見方)

- I. 事業活動収支差額比率は、経営上、財政的に余裕があるかないかを診断する重要な指標である。  
 II. 学納金比率、III. 補助金比率、IV. 資産運用収入等比率は、収入構造(体質)を見るための指標である。  
 V. 人件費比率 ~ IX. 基本金組入率の支出比率は、事業活動収入(又は学納金)が適切な割合で使用されているかを見る指標である。

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
I 事業活動収支差額比率 (事業活動収入-事業活動支出) / 事業活動収入	10.0%	-2.5%	11.5%
II 学納金比率 (学納金 / 事業活動収入)	76.8%	74.3%	75.0%
III 補助金比率 (補助金 / 事業活動収入)	13.8%	16.0%	16.0%
IV 資産運用収入等比率 (資産運用収入 / 事業活動収入)	0.1%	0.9%	0.3%
V 人件費比率 (人件費 / 事業活動収入)	48.0%	44.1%	43.8%
VI 人件費依存率 (人件費 / 学納金収入)	62.5%	59.3%	58.4%
VII 教育研究経費比率 (教育研究経費 / 事業活動収入)	34.5%	35.2%	37.9%
VIII 管理経費比率 (管理経費 / 事業活動収入)	6.7%	5.8%	6.1%
IX 基本金組入率 (基本金組入額 / 事業活動収入)	13.8%	12.2%	6.9%

## (6) 有価証券の状況

### ①総括表

(単位：円)

種類	当年度 (令和4年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの (うち満期保有目的の債券)	68,178,024 (68,178,024)	70,441,809 (70,441,809)	2,263,785 (2,263,785)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの (うち満期保有目的の債券)	4,241,113,000 (2,919,748,000)	4,175,021,375 (2,870,135,375)	-66,091,625 (-49,612,625)
合計 (うち満期保有目的の債券)	4,309,291,024 (2,987,926,024)	4,245,463,184 (2,940,577,184)	-63,827,840 (-47,348,840)
時価のない有価証券	517,655,000		
有価証券合計	4,826,946,024		

### ②明細表

(単位：円)

種類	当年度 (令和4年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	2,641,113,000	2,599,939,000	-41,174,000
株式	-	-	-
投資信託	1,600,000,000	1,575,082,375	-24,917,625
貸付信託	-	-	-
その他	68,178,024	70,441,809	2,263,785
合計	4,309,291,024	4,245,463,184	-63,827,840
時価のない有価証券	517,655,000		
有価証券合計	4,826,946,024		

## (7) 借入金の状況

[主な借入金残高] ※1,000千円以上

(単位：百万円)

借入先	借入目的	借入金額	令和3年度末 借入残高
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (H22)	2,800	1,244
龍谷学事振興金庫	千代田高中施設設備 (H30)	200	160
日本私立学校振興 ・共済事業団	有明校舎建築 (R1)	2,789	2,789
市中金融機関	有明校舎建築 (R1)	4,000	3,600
合計		9,789	7,793

## (8) 寄付金（募財）の状況

### ①大学

#### I. 武蔵野大学 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億5千万円
期 間	: 5年間（4年目）令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 大学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 1.6百万円 8 件	
累 計 額	: 143.4百万円 2,713 件 達成率 95.6 %	

#### II. 武蔵野大学薬学部 教育研究施設・設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間（4年目）令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 大学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 0.3百万円 3 件	
累 計 額	: 49.1百万円 382 件 達成率 49.1 %	

#### III. 武蔵野大学 教育充実資金募財、奨学基金募財

目 標	額	: 3億円（各事業1.5億円）
期 間	: 10年間（5年目）令和9年3月まで	
対 象 者	: 法人	
寄 付 金 額	: 29.6百万円 3 件	
累 計 額	: 289.7百万円 40 件 達成率 96.6 %	

### ②武蔵野中高

#### IV. 武蔵野大学高等学校・中学校 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間（4年目）令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 高校・中学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 1.4百万円 4 件	
累 計 額	: 84.8百万円 1,169 件 達成率 84.8 %	

### ③千代田中高

#### V. 武蔵野大学附属千代田高等学院・千代田女学園中学校 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1億円
期 間	: 5年間（4年目）令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 高校・中学生の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 0百万円 0 件	
累 計 額	: 5.8百万円 66 件 達成率 5.8 %	

### ④附属幼稚園

#### VI. 武蔵野大学附属幼稚園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1千万円
期 間	: 5年間（4年目）令和5年3月まで	
対 象 者	: (1) 幼稚園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 0百万円 0 件	
累 計 額	: 6.7百万円 284 件 達成率 6.7 %	

### ⑤有明こども園

#### VII. 武蔵野大学附属有明こども園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 5百万円
期 間	: 5年間（2年目）令和7年3月まで	
対 象 者	: (1) こども園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 0百万円 0 件	
累 計 額	: 0百万円 0 件 達成率 0 %	

### ⑥慈光保育園

#### VIII. 武蔵野大学附属慈光保育園 教育施設設備充実募財

目 標	額	: 1百万円
期 間	: 5年間（2年目）令和7年3月まで	
対 象 者	: (1) 保育園児の父母 (2) 本学教職員 (3) その他有志	
寄 付 金 額	: 0百万円 0 件	
累 計 額	: 0百万円 0 件 達成率 0 %	

## (9) 補助金の状況

(単位:千円)

補助金の種類	補助金額
私立大学等経常費補助金	1,275,534
一般補助	1,103,266
特別補助	172,268
成長力強化に貢献する質の高い教育	7,590
社会人の組織的な受入れ	6,300
大学等の国際交流の基盤整備	33,170
大学院等の機能の高度化	115,208
私立大学改革総合支援事業	10,000
修学支援授業料等減免費交付金	373,902
遠隔授業活用推進事業補助金	9,375
国庫からのその他の補助金	24,158
地方公共団体等からの補助金	1,362,913
私立学校経常費補助金	851,357
私立学校等授業料軽減補助金	152,380
その他の補助金	359,176
合 計	3,045,882



### (10) 関連当事者等との取引

関連当事者

該当なし

### (11) 出資会社の状況

会社等の名称 : 株式会社エムユービジネスサポート

事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容
建物の清掃・警備・保守管理業務、 事務受託業務、学生生活支援事業、 損保代理店業務等	10,000千円	100%	清掃・警備・保守管理業務、 事務受託業務、学生生活支援事業、 損保代理店業務等の委託